

「次代を担う支援者養成研修（令和６年度）」実施報告 (詳細はこちら)

８月３日から１０月６日にかけて「次代を担う支援者養成研修」を開催し、２９名の方が受講されました。

本研修実施にあたって

子ども・若者の支援にかかわることを目指す参加者の皆様方が、困難を抱える子ども・若者への支援に関する理解を深めるとともに当事者性を高めて、将来の支援者として、気づき・つながり・寄り添い・信頼関係を築く実践力の向上を図り、少しでも子ども・若者たちの未来が明るくなってほしいと願っています。

愛知県生涯学習推進センター センター長 伊佐治 進

参加者	講 演	１日目	２８名、	２日目	２４名
	実地研修	１	８名		
	全体交流会	１	７名		

講演Ⅰ 「支援のあり方～子どもとの寄り添いとは～」

NPO 法人陽和 理事長 渋谷 幸靖 氏

【参加者の声】（一部）

- ・ 支援者の心持ちについてよく分かりました。そして子供たちの特性をしっかりと理解して、心のとびらを開けられるように子供たちに接していきたいと思います。
- ・ 一人ひとりへの理解の大切さを学ぶことができました。背景を知るために、相手を知るために自分がどう行動すべきか、考え続けたいと思います。



講演2 「街角保健室の挑戦 ～ピンクテントの灯は安心安全自由への道しるべ～」

街角保健室☆ケアリングカフェ 代表 中谷 豊実 氏

【参加者の声】(一部)

- ・自己肯定感、自分を大切にすることの大切さを改めて気づかされました。
- ・子どもの性教育について必要なものであると感じています。少しずつ子どもたちが心と身体を大切にすることを話していきたいと思いました。



講演3 「すべてはひとり一人の未来のために」

一般社団法人愛知 PFS 協会 代表理事 星野 智生 氏

【参加者の声】(一部)

- ・「子どもの話を聞く」について他者の意見を聞き、自分にはなかったさまざまな視点を見つけることができ、とても良かったです。
- ・「子どもの声を聞く」について、改めて言葉にすることで、再度意識して子どもたちに関わっていきたいと思いました。



講演4 「『若者が若者の居場所をつくる意義』について」

NPO 法人全国こども福祉センター 学生ボランティア 加藤 早耶香 氏

【参加者の声】（一部）

- ・若者たちの現状、「居場所」は絶対的に必要です。大人が作ったところではなく、若者がつくるのが大切です。改めて気づきました。
- ・「子どもが子どもに声をかける」同世代の支援は大変心強いし、未来に明るさを感じました。



実地研修

講師の各団体の活動に参加していただきました。複数の団体の活動に参加された方も多くいらっしゃいました。

全体交流会

実地研修参加者による実地研修の感想や今後の活動についてお話いただき、各団体の講師及び県関係課（社会活動推進課・あいちの学び推進課）担当職員からもコメントをいただきながら、参加者同士の交流をしました。

【参加者の声】（一部）

- ・自分の参加した実地研修以外の研修の内容について詳しく知ることができ、またそれぞれの人が自身の経験から何を感じたかを知ることができたという点で、多様な考えを知る良い経験になった。
- ・皆さんそれぞれ熱い思いをもって実地研修に参加されたことがお話から伝わってきて、伺えてよかったです。
- ・自分自身の学びや感じたことをお話し、他者の考えや想いを聞くことができ、とても有意義な時間となりました。



修了証

すべての研修に参加された14名に修了証を授与しました。

【修了書授与者の参加報告】（一部抜粋）

・“どうしたらいいんだろう”をみんなで考え、実際に行動することで一つひとつクリアにしていく必要があり、それには支援者の知識も必要で、多くの時間がかかることを実感しました。だからこそ、コツコツと関係性を大切にしながら関わり続けることが重要だと感じました。今後も活動に参加させていただきながら、自分自身も学びを深めたいと思っています。

・人間同志信じ合うことの大切さ、信じられることのうれしさ、頼りにされ人の役に立った時にありがたいと感謝された時のすがすがしさ、一つずつ体験し直すことができる居場所、仲間が必要であると思いました。自分も信頼できる大人として、この先生きていきたいと思いました。

・子どもと関わる際、ゴールを求めすぎてしまうところがありました。でも、まずは安心できる環境にすることが何よりも大切であると知りました。無理に子どもに聞くのではなく、子どもからなんでも話していけるような、信頼関係を築けるようになりたいと感じました。力みすぎず、誠実に接していこうと思います。